

第3章 空き家所有者アンケート調査

1. 空き家所有者アンケート調査の概要

(1) 調査目的

空き家と推定された住宅の所有者を対象としたアンケート調査を実施し、空き家となった理由や住宅の状況、活用に向けた動向、今後の活用意向等について把握する。

(2) 調査対象

- ・空き家と推定された物件について、登記簿謄本を基に所有者の特定を行った。
- ・所有者特定率については、戸建てが61.2%、賃貸は74.7%である。
- ・所有者が特定できたものは、「戸建て」115件、「賃貸」328件である。

	戸建て(戸)	賃貸(棟)	合計
空き家と考えられる物件	188	455	643
↓ 建物登記簿申請等による所有者の特定 ↓			
うち所有者が特定できた物件	115 (61.2%)	340 (74.7%)	455 (70.8%)
↓ ↓ ↓			
うちアンケート配布数	115 (61.2%)	328 (72.1%)	443 (68.9%)

※追加調査にて空き家が確認された物件数（戸建て34件、賃貸372棟は含まず）

(3) 調査方法

- ・物件の所有者に対して、郵送によるアンケート調査票の配布及び回収を行った。

(4) アンケート配布・回収の状況

- ・アンケート調査票の配布数は443票、回収数が210票で、回収率は52.1%である。
- ・宛先不明等で戻ってきたものは、40票（配布数の9.0%）であった。

		戸建て	賃貸	合計
配布数	A	115	328	443
不達数	B	21	19	40
(不達率)	C=B/A	(18.3%)	(5.8%)	(9.0%)
回収数	D	33	177	210
(回収率)	E=D/(A-B)	(35.1%)	(57.3%)	(52.1%)

(5) 調査票の不達の原因について

所有者については、p9「(3) -②調査対象の抽出」の方法にて抽出を行ったが、所有者の特定ができない住戸があった。また、調査票が配布できず不達の住戸もあった。主な理由としては以下が考えられる。

【所有者が特定できない、調査票が不達である主な理由】

- 登記簿謄本の所有者を対象としているが、何らかの理由により（費用等がかかるため等）登記変更を行っていないため。
- 死亡等で、登記変更が行われておらず、住所・氏名がそのままになっている。
- 現在、売却を前提としており登記変更途中である。

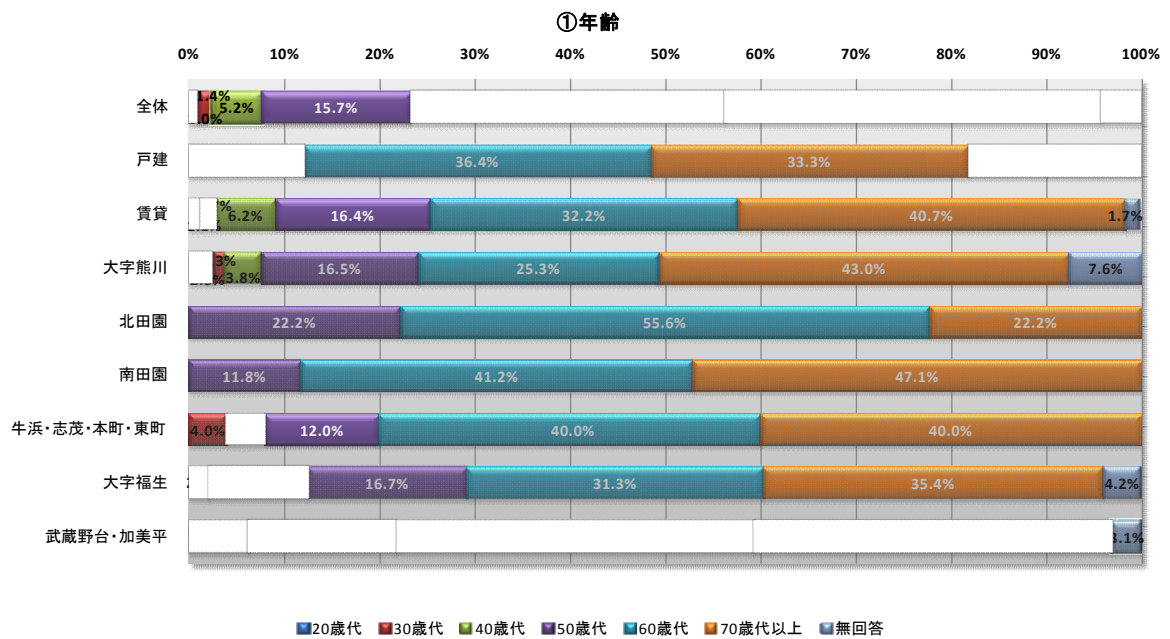
2. 空き家所有者アンケート調査の結果

(1) 属性

①年齢

- ・全体では、70歳代以上が83人、39.5%と最も多く、次いで60歳代の69人、32.9%と高齢の所有者が多い状況にある。
- ・種類別にみると、戸建て所有者はすべて50歳代以上である。

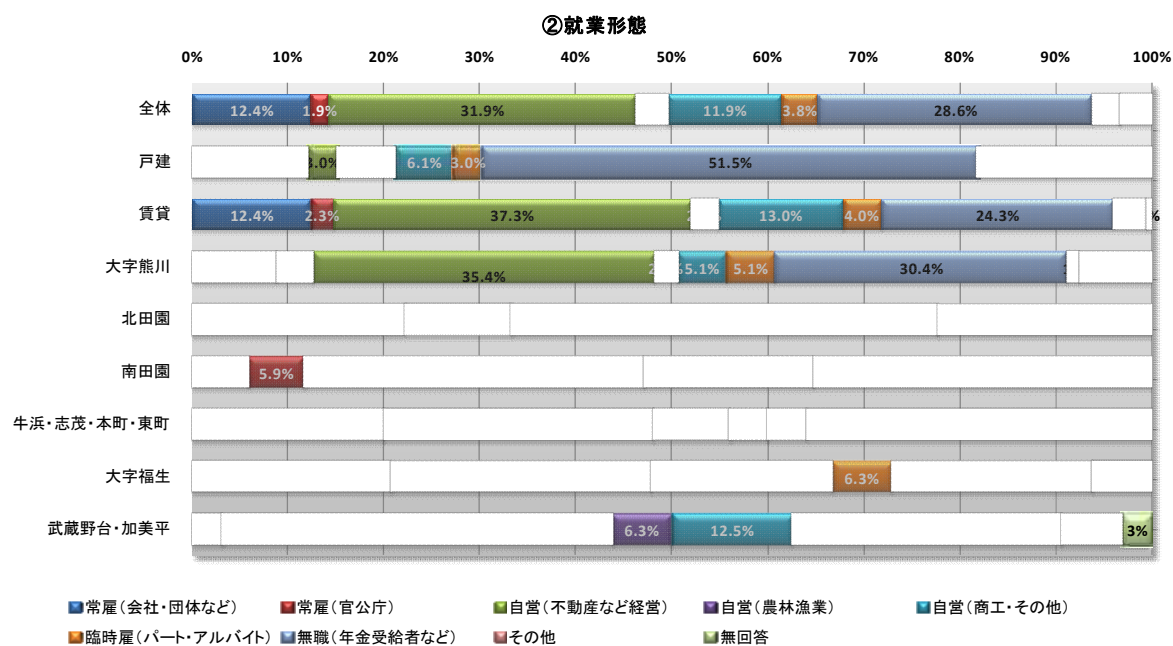
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答	計
種類	全体	2	3	11	33	69	83	9	210
	戸建				4	12	11	6	33
	賃貸	2	3	11	29	57	72	3	177
地区	大字熊川	2	1	3	13	20	34	6	79
	北田園				2	5	2		9
	南田園				2	7	8		17
	牛浜・志茂・本町・東町		1	1	3	10	10		25
	大字福生		1	5	8	15	17	2	48
	武蔵野台・加美平			2	5	12	12	1	32



②職業形態

- ・全体では、自営業（不動産などの経営）が最も多く 31.9%であり、次いで無職（年金受給者など）の 28.6%である。
- ・種類別にみると、戸建てでは無職（年金受給者など）が 51.5%と半数以上を占める。
- ・賃貸では、全体と同傾向であり、自営業（不動産などの経営）、無職（年金受給者など）が各 3 割程度を占める。

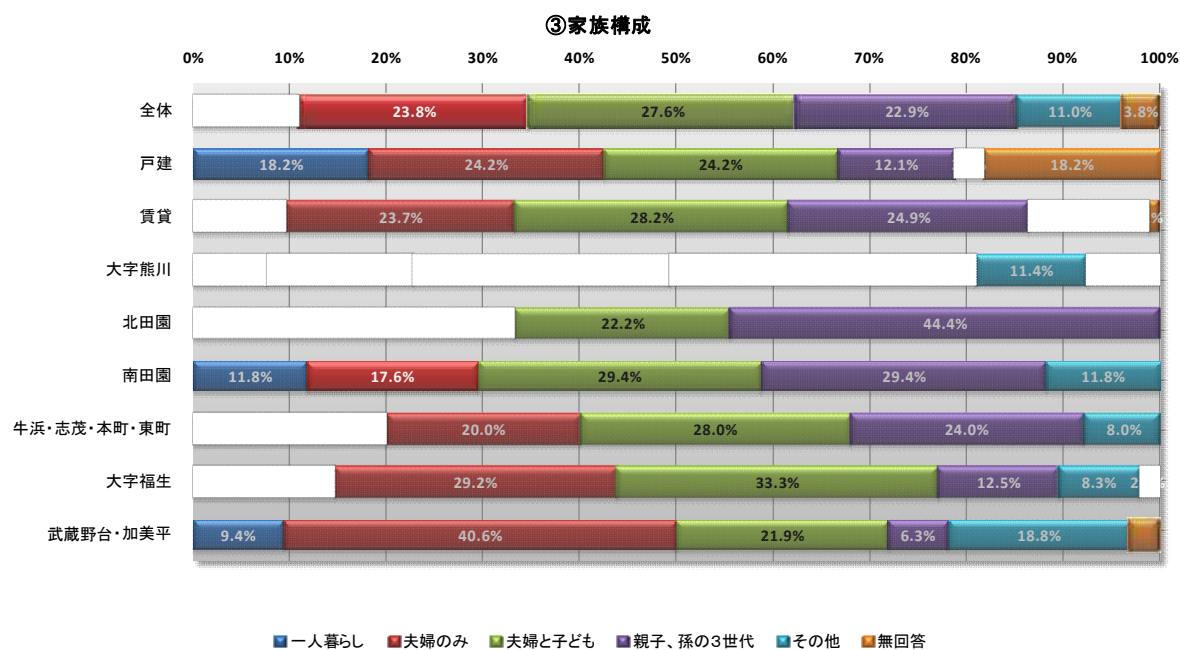
		常雇(会社・団体など)	常雇(官公庁)	自営(不動産など経営)	自営(農林漁業)	自営(商工・その他)	臨時雇(パート・アルバイト)	無職(年金受給者など)	その他	無回答	計
全体		26	4	67	7	25	8	60	6	7	210
種類	戸建	4		1	2	2	1	17		6	33
	賃貸	22	4	66	5	23	7	43	6	1	177
地区	大字熊川	7	3	28	2	4	4	24	1	6	79
	北田園	2			1	4		2			9
	南田園	1	1	6		3		6			17
	牛浜・志茂・本町・東町	5		7	2	1	1	9			25
	大字福生	10		13		9	3	10	3		48
	武蔵野台・加美平	1		13	2	4		9	2	1	32



③家族構成

- ・全体では、夫婦のみ（23.8%）、夫婦と子供（27.6%）、親子・孫の3世代（22.9%）が各3割を占めている。
- ・種類別では、戸建てでは、全体と比べて一人暮らしの割合が若干高い。

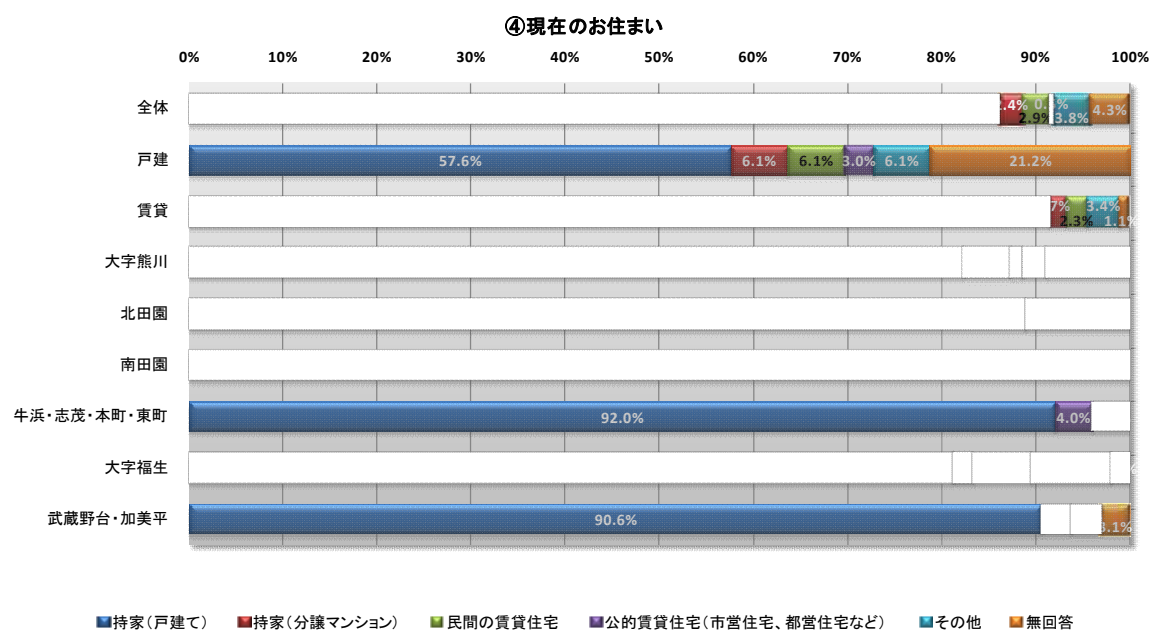
		一人暮らし	夫婦のみ	夫婦と子ども	親子、孫の3世代	その他	無回答	計
全体		23	50	58	48	23	8	210
種類	戸建	6	8	8	4	1	6	33
	賃貸	17	42	50	44	22	2	177
地区	大字熊川	6	12	21	25	9	6	79
	北田園		3	2	4			9
	南田園	2	3	5	5	2		17
	牛浜・志茂・本町・東町	5	5	7	6	2		25
	大字福生	7	14	16	6	4	1	48
	武蔵野台・加美平	3	13	7	2	6	1	32



④現在のお住まい

- ・全体では、持家（専用住宅）が最も多く 86.2%である。
- ・戸建てでは、無回答が多いこともあるが、持家（専用住宅）は 57.6%である。
- ・賃貸では、全体よりも持家（専用住宅）の割合が高く 91.5%である。

		持家(戸建て)	持家(分譲マンション)	民間の賃貸住宅	公的賃貸住宅 (市営住宅、都営住宅など)	その他	無回答	計
全体		181	5	6	1	8	9	210
種類	戸建	19	2	2	1	2	7	33
	賃貸	162	3	4		6	2	177
地区	大字熊川	65	4	1		2	7	79
	北田園	8		1				9
	南田園	17						17
	牛浜・志茂・本町・東町	23			1	1		25
	大字福生	39	1	3		4	1	48
	武蔵野台・加美平	29		1		1	1	32

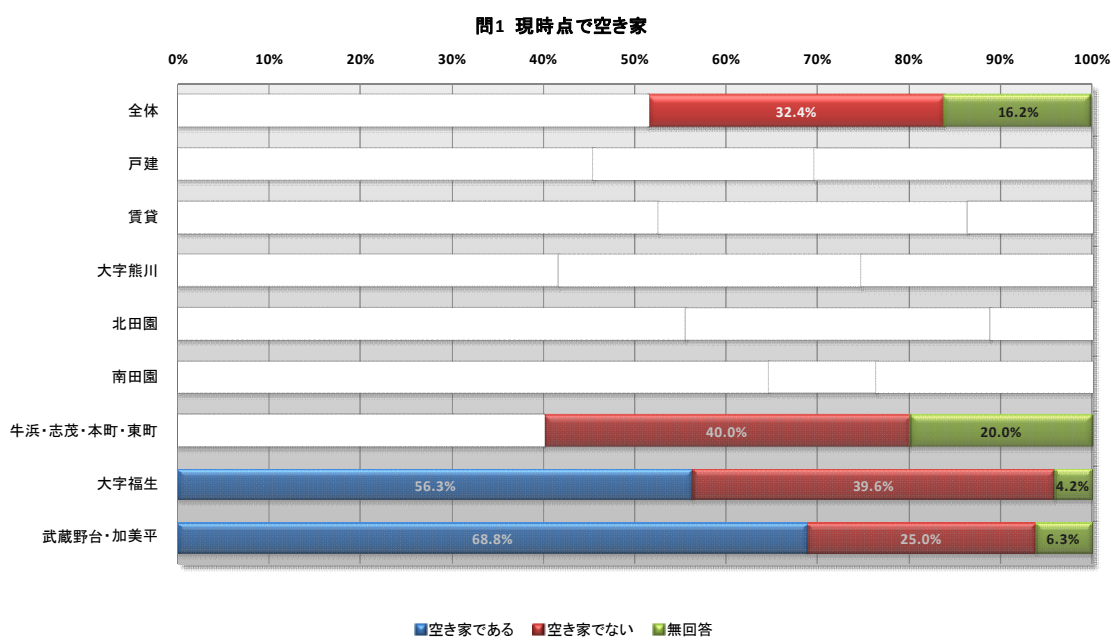


(2) 現在の利用及び所有状況等

①現時点で空き家

・全体では、「空き家である」が51.4%、「空き家でない」が32.4%である。

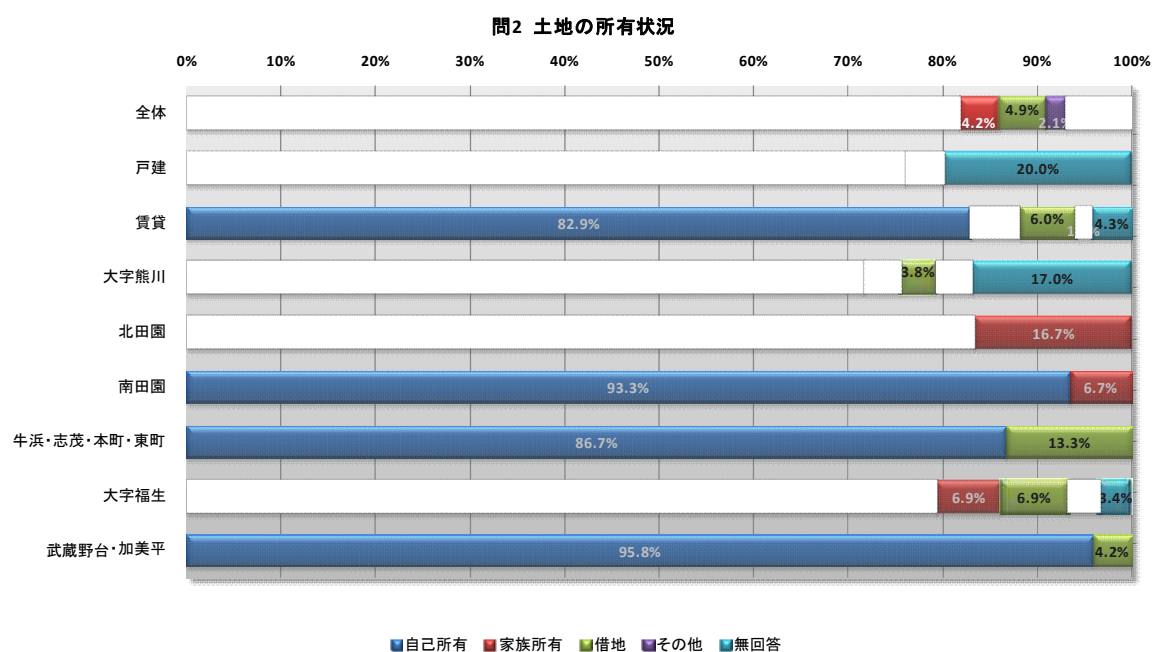
		空き家である	空き家でない	無回答	計
全体		108	68	34	210
種類	戸建	15	8	10	33
	賃貸	93	60	24	177
地区	大字熊川	33	26	20	79
	北田園	5	3	1	9
	南田園	11	2	4	17
	牛浜・志茂・本町・東町	10	10	5	25
	大字福生	27	19	2	48
	武蔵野台・加美平	22	8	2	32



②土地の所有状況

- ・全体では、自己所有が最も多く 81.7%である。
- ・種類別においても、自己所有が最も多い状況にある。
(空き家でないと回答した方を除く)

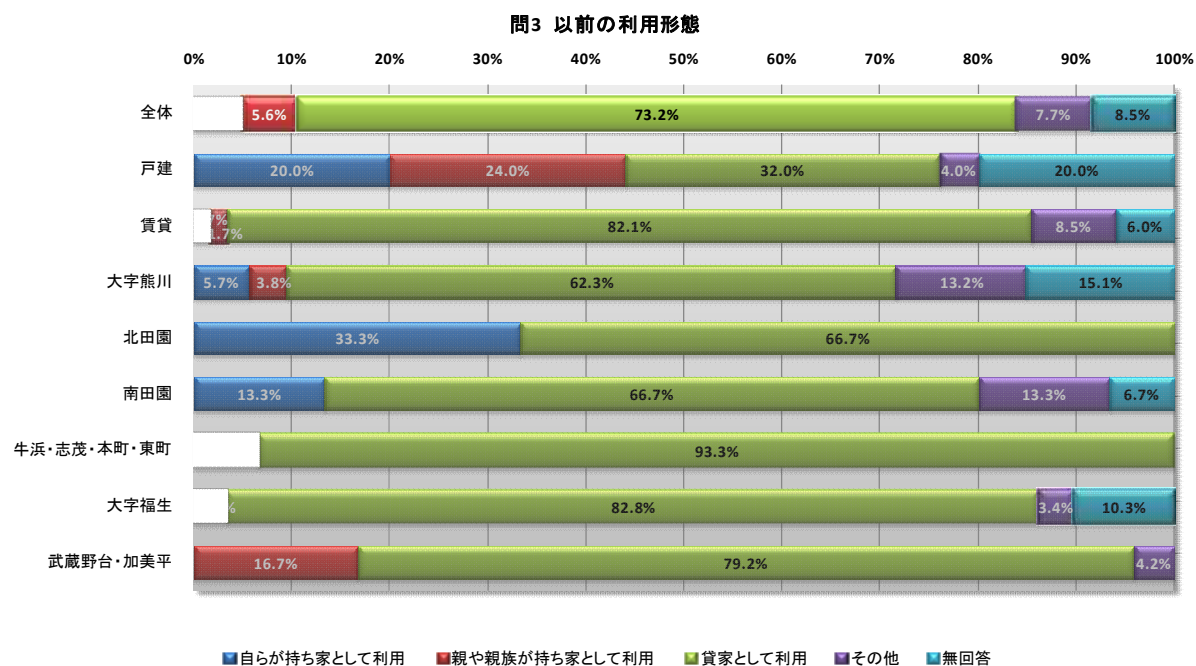
		自己所有	家族所有	借地	その他	無回答	計
全体		116	6	7	3	10	142
種類	戸建	19			1	5	25
	賃貸	97	6	7	2	5	117
地区	大字熊川	38	2	2	2	9	53
	北田園	5	1			0	6
	南田園	14	1			0	15
	牛浜・志茂・本町・東町	13		2		0	15
	大字福生	23	2	2	1	1	29
	武蔵野台・加美平	23		1		0	24



③以前の利用形態

- ・全体では、借家としての利用が最も多く、73.2%である。
- ・種類別では、戸建てでは、「自らが持ち家として利用」「親や親族が持ち家として利用」が、各2割以上を占める。
(空き家でないと回答した方を除く)

		自らが持ち家として利用	親や親族が持ち家として利用	貸家として利用	その他	無回答	計
全体		7	8	104	11	12	142
種類	戸建	5	6	8	1	5	25
	賃貸	2	2	96	10	7	117
地区	大字熊川	3	2	33	7	8	53
	北田園	2		4		0	6
	南田園	2		10	2	1	15
	牛浜・志茂・本町・東町		1	14		0	15
	大字福生		1	24	1	3	29
	武蔵野台・加美平		4	19	1	0	24



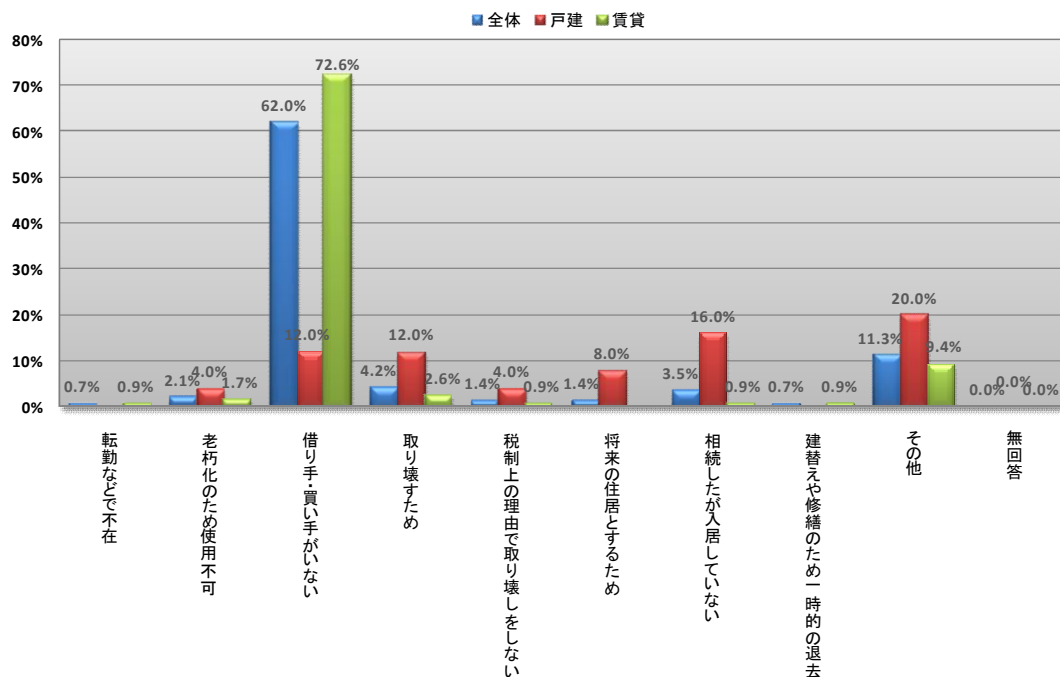
④空き家となっている理由

- ・全体では、「借り手・買い手がつかない」が最も多く62.0%である。
- ・賃貸では、全体と同様に「借り手・買い手がつかない」が最も多く72.6%である。
- ・戸建てでは、「相続したが入居してない(16.0%)」「取り壊すため(12.0%)」「借り手・買い手がつかない(12.0%)」が各1割程度を占める。

(空き家でないと回答した方を除く)

		複数回答									計
		転勤などで不在	老朽化のため使用不可	借り手・買い手がいない	取り壊すため	税制上の理由で取り壊しをしない	将来の住居とするため	相続したが入居していない	建替えや修繕のため一時的の退去	その他	無回答
全体		1	3	88	6	2	2	5	1	16	142
種類	戸建		1	3	3	1	2	4		5	25
	賃貸	1	2	85	3	1		1	1	11	117
地区	大字熊川	1	1	26	3			2	1	8	53
	北田園			4			1	1			6
	南田園			10	1					4	15
	牛浜・志茂・本町・東町			11	1		1				15
	大字福生			22		1				2	29
	武蔵野台・加美平		2	15	1	1		2		2	24

問4 空き家となっている理由
(種類別)

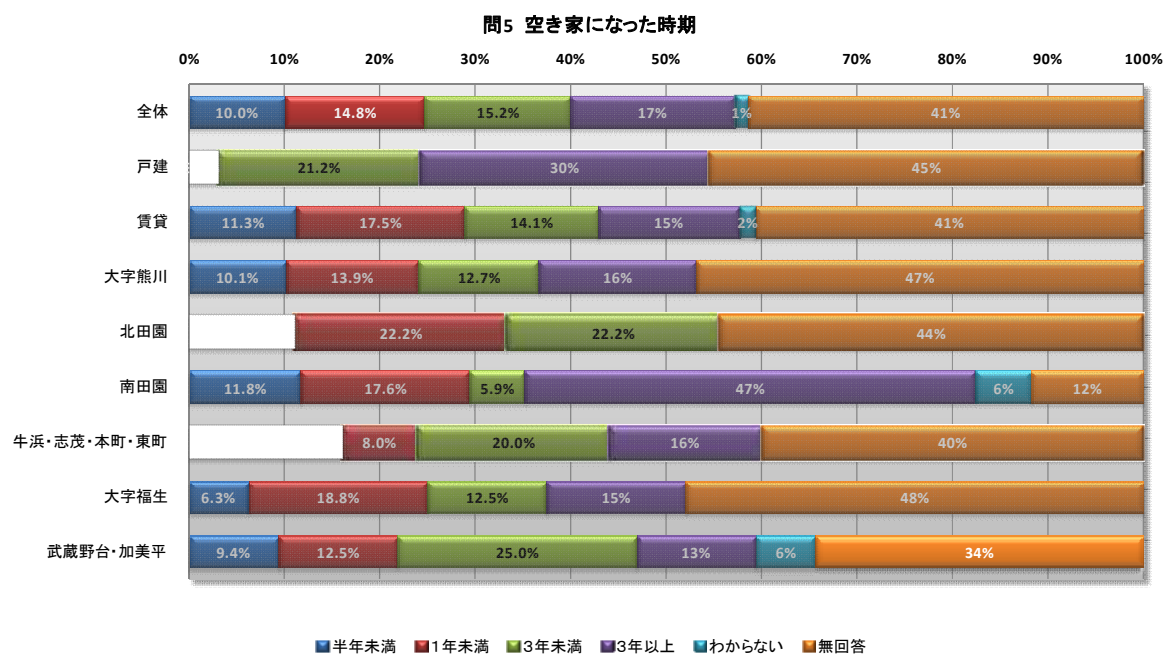


(3) 住戸の状況

①空き家になった時期

- ・全体では「1年未満（14%）」、「3年未満（15%）」、「3年以上（17%）」が同程度の割合となっている。
- ・戸建てでは、「3年以上」が最も多く30%である。
- ・賃貸では、「1年未満」が最も多く17.5%である。

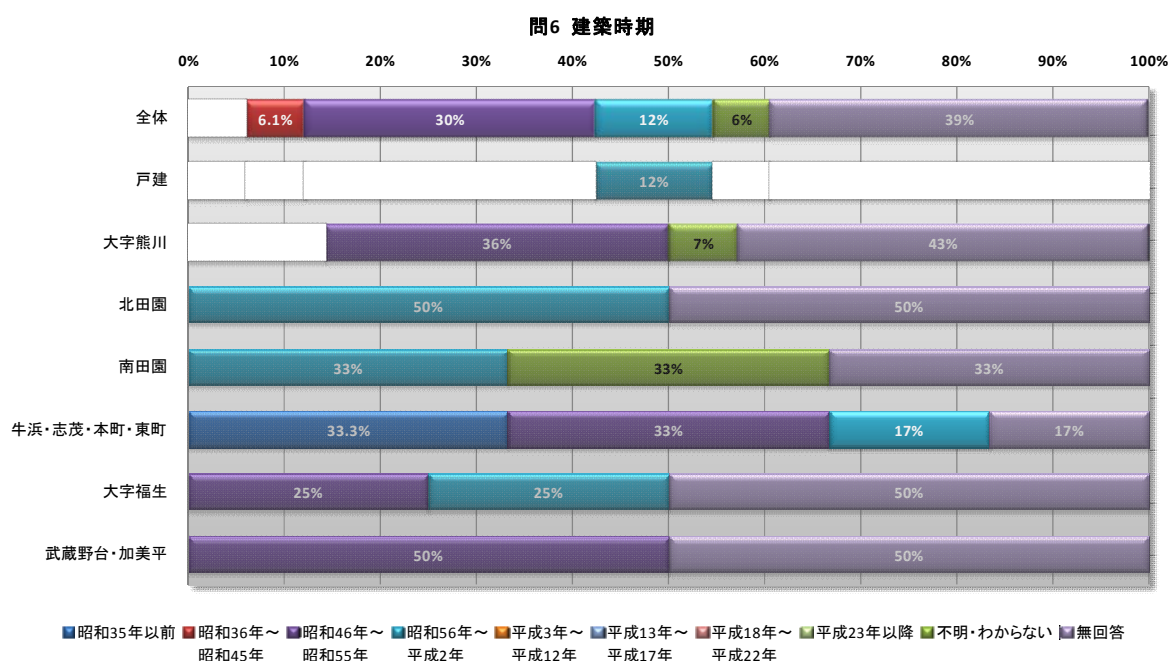
		半年未満	1年未満	3年未満	3年以上	わからない	無回答	計
全体		21	31	32	36	3	87	210
種類	戸建	1		7	10		15	33
	賃貸	20	31	25	26	3	72	177
地区	大字熊川	8	11	10	13		37	79
	北田園	1	2	2			4	9
	南田園	2	3	1	8	1	2	17
	牛浜・志茂・本町・東町	4	2	5	4		10	25
	大字福生	3	9	6	7		23	48
	武蔵野台・加美平	3	4	8	4	2	11	32



②建築時期（戸建てのみの設問）

- ・戸建ての建築時期については、昭和46年～昭和55年の築30～40年が最も多く30%である。

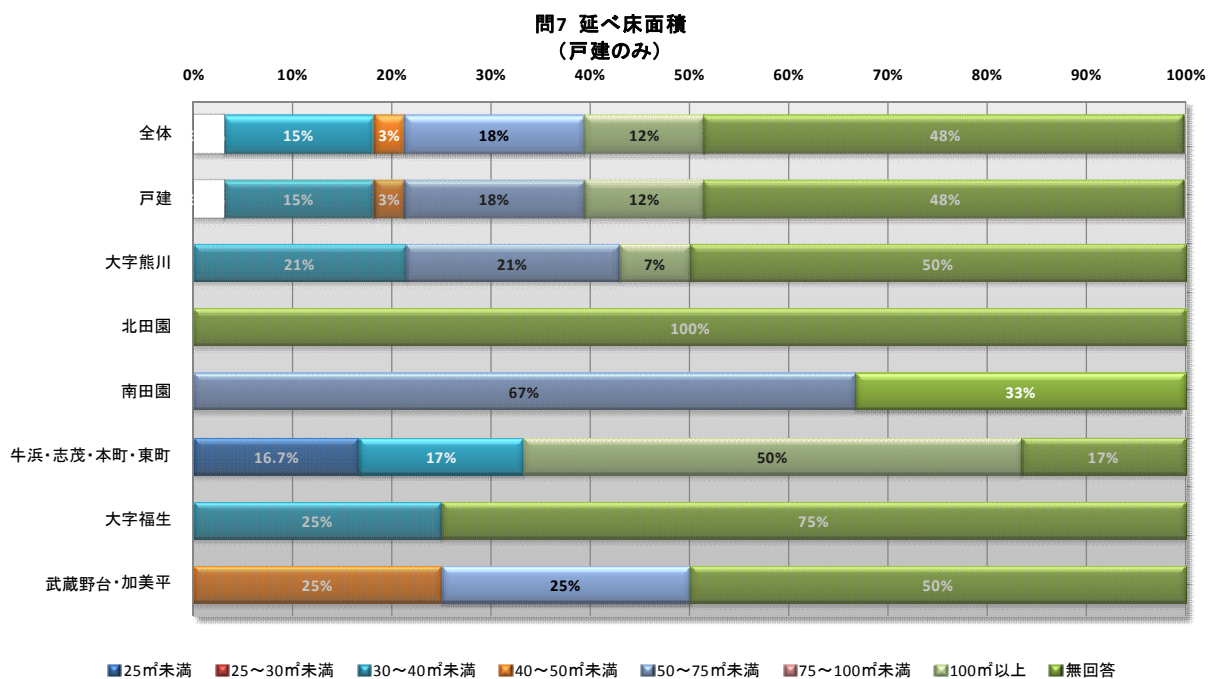
		昭和35年以前	昭和36年～昭和45年	昭和46年～昭和55年	昭和56年～平成2年	平成3年～平成12年	平成13年～平成17年	平成18年～平成22年	平成23年以降	不明・わからない	無回答	計
全体		2	2	10	4					2	13	33
種類	戸建	2	2	10	4					2	13	33
	賃貸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地区	大字熊川		2	5						1	6	14
	北田園				1						1	2
	南田園				1					1	1	3
	牛浜・志茂・本町・東町	2		2	1						1	6
	大字福生			1	1						2	4
	武蔵野台・加美平			2							2	4



③延べ床面積（戸建てのみの設問）

- ・戸建ての延べ床面積については、50～75㎡未満（2LDK～3LDK程度）が最も多く18%である。

		25㎡未満	25～30㎡未満	30～40㎡未満	40～50㎡未満	50～75㎡未満	75～100㎡未満	100㎡以上	無回答	計
全体		1		5	1	6		4	16	33
種類	戸建	1		5	1	6		4	16	33
	賃貸	—	—	—	—	—			—	—
地区	大字熊川			3		3		1	7	14
	北田園								2	2
	南田園					2			1	3
	牛浜・志茂・本町・東町	1		1				3	1	6
	大字福生			1					3	4
	武蔵野台・加美平				1	1			2	4



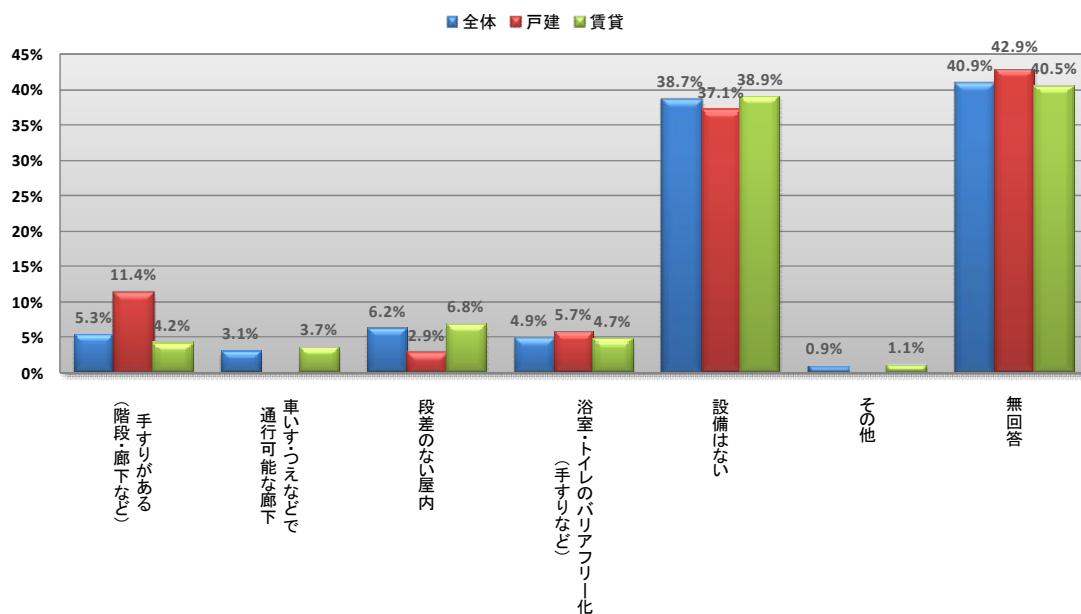
④高齢者などの設備の状況

- ・全体では、「高齢者のための設備はない」が最も多く 38.7%である。次いで「段差のない室内」が 6.2%である。
- ・戸建てでは、「高齢者のための設備はない」が最も多く 37.1%である。次いで「手すり」が 11.4%である。
- ・賃貸では、「高齢者のための設備はない」が最も多く 38.9%である。次いで「段差のない室内」が 6.8%である。

複数回答

		手すりがある (階段・廊下など)	車いす・つえ などで通行可 能な廊下	段差のない屋 内	浴室・トイレの バリアフリー 化(手すりな ど)	設備はない	その他	無回答	計
全体		12	7	14	11	87	2	92	225
種類	戸建	4		1	2	13		15	35
	賃貸	8	7	13	9	74	2	77	190
地区	大字熊川	6	2	7	5	23		40	83
	北田園					5		4	9
	南田園			2	2	11		2	17
	牛浜・志茂・本町・東町	2	1	2	1	9		13	28
	大字福生	2	3	3	2	20	2	22	54
	武蔵野台・加美平	2	1		1	19		11	34

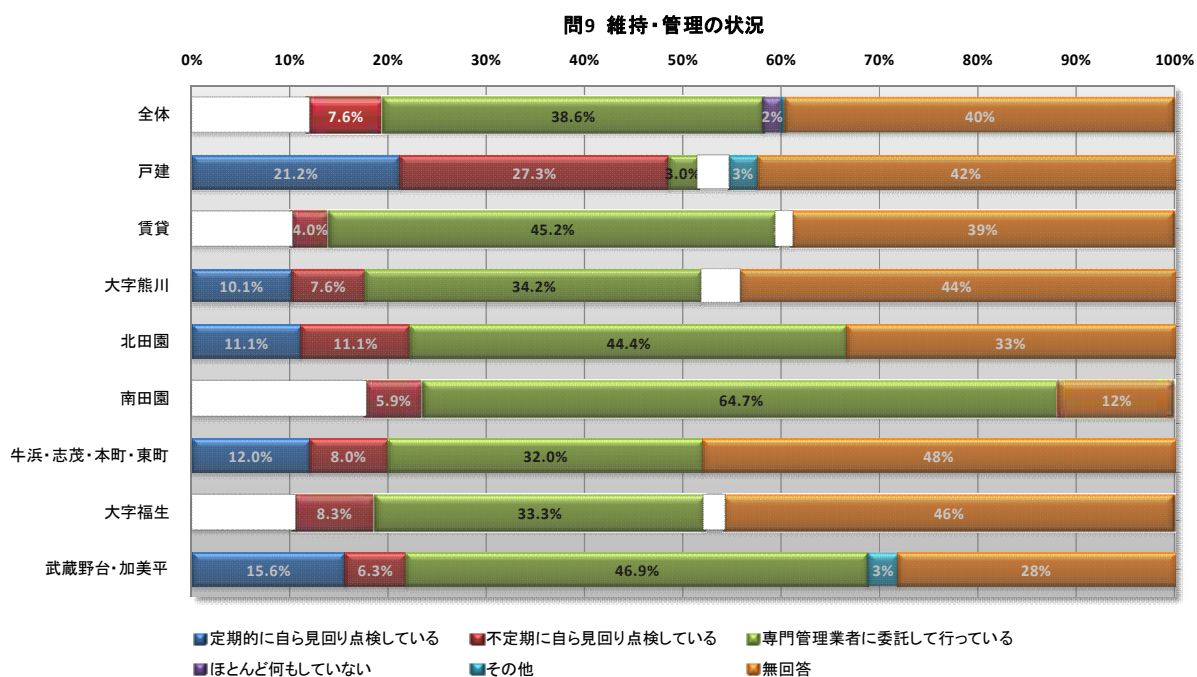
問8 高齢者などのための設備



⑤維持・管理の状況

- ・全体では、「専門管理業者に委託して行っている」が最も多く 38.6%である。
- ・戸建てでは、定期的、不定期に関わらず「自ら見回り点検している」が、2割程度を占め、管理は所有者が行っている割合が高い。
- ・賃貸では、「専門管理業者に委託して行っている」が最も多く 45.2%である。

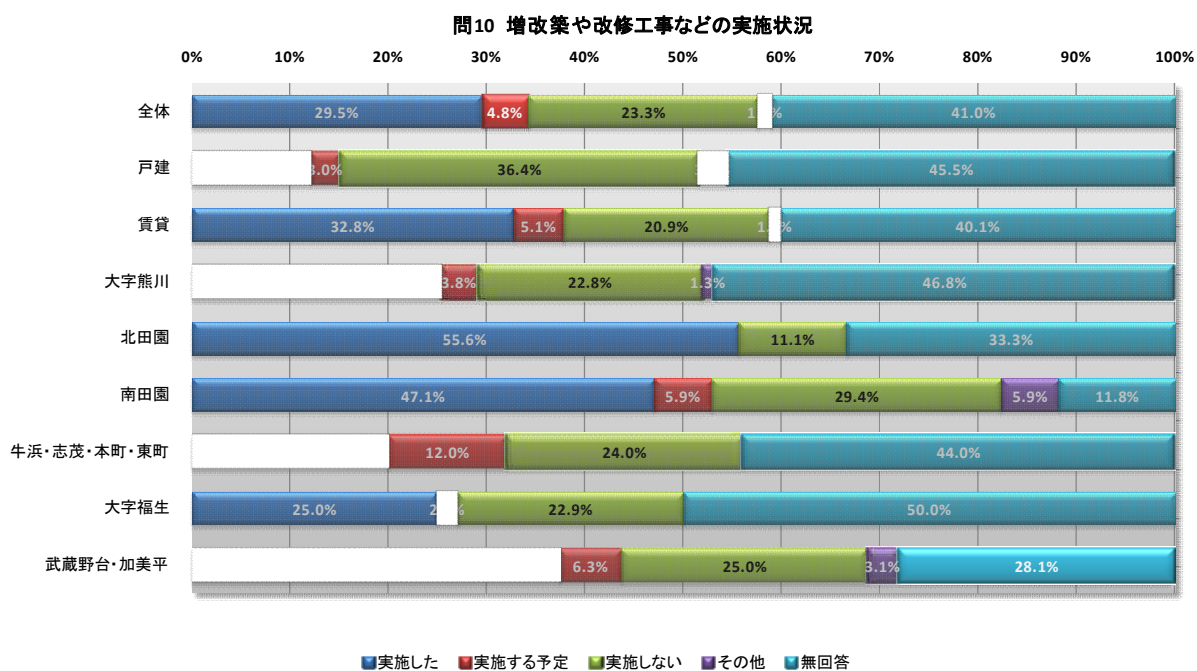
		定期的に自ら見回り点検している	不定期に自ら見回り点検している	専門管理業者に委託して行っている	ほとんど何もしていない	その他	無回答	計
全体		25	16	81	4	1	83	210
種類	戸建	7	9	1	1	1	14	33
	賃貸	18	7	80	3		69	177
地区	大字熊川	8	6	27	3		35	79
	北田園	1	1	4			3	9
	南田園	3	1	11			2	17
	牛浜・志茂・本町・東町	3	2	8			12	25
	大字福生	5	4	16	1		22	48
	武蔵野台・加美平	5	2	15		1	9	32



⑥増改築や改修工事などの実施状況

- ・全体では、増改築を「実施した、する予定である」は34.3%である
- ・戸建てでは、増改築を「実施した、する予定である」は15.1%であり、全体の3分の1程度の実施状況である
- ・賃貸では、増改築を「実施した、する予定である」は37.9%である。

		実施した	実施する予定	実施しない	その他	無回答	計
全体		62	10	49	3	86	210
種類	戸建	4	1	12	1	15	33
	賃貸	58	9	37	2	71	177
地区	大字熊川	20	3	18	1	37	79
	北田園	5		1		3	9
	南田園	8	1	5	1	2	17
	牛浜・志茂・本町・東町	5	3	6		11	25
	大字福生	12	1	11		24	48
	武蔵野台・加美平	12	2	8	1	9	32



⑦住戸の改善の内容

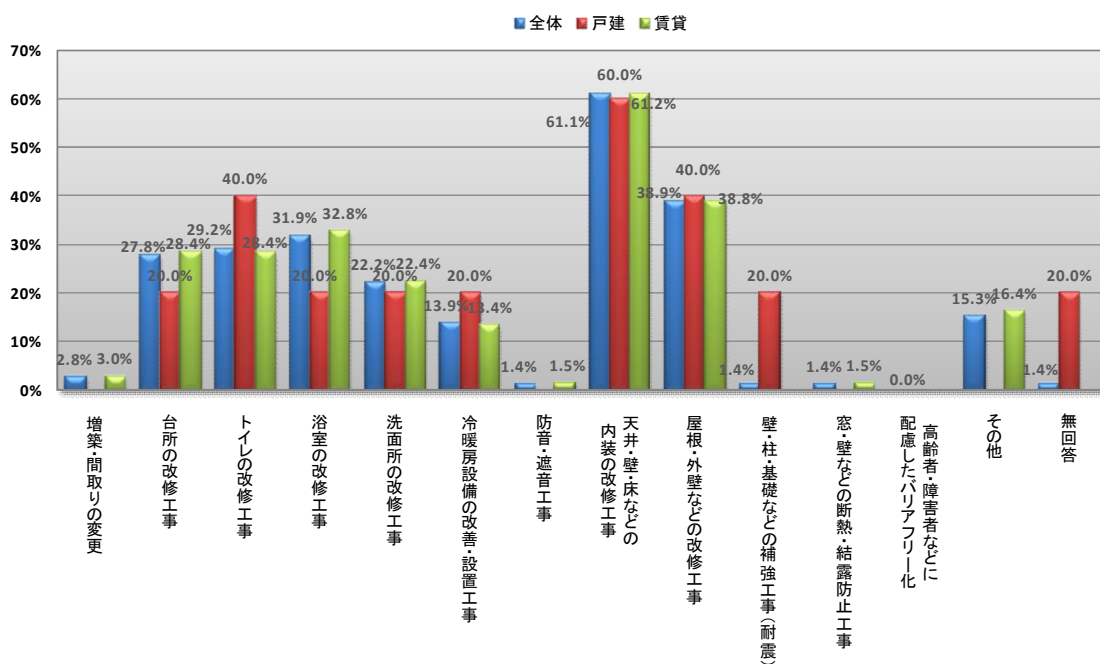
- ・全体では、「天井・壁・床などの内装の改修工事」が最も多く 61.1%であり、次いで「屋根・外壁などの改修工事 (38.9%)」、「浴室の改修工事 (31.9%)」である。
- ・戸建て、賃貸についても、全体と同様の傾向にある。

		増築・間取りの変更	台所の改修工事	トイレの改修工事	浴室の改修工事	洗面所の改修工事	冷暖房設備の改善・設置工事	防音・遮音工事
種類	全体	2	20	21	23	16	10	1
	戸建		1	2	1	1	1	
	賃貸	2	19	19	22	15	9	1
地区	大字熊川	2	10	10	9	5	2	
	北田園			1	2	1	1	
	南田園		2	4	4	3	2	
	牛浜・志茂・本町・東町			1	1		1	
	大字福生		2	3	2	3	2	1
	武蔵野台・加美平		6	2	5	4	2	

複数回答

		天井・壁・床などの内装の改修工事	屋根・外壁などの改修工事	壁・柱・基礎などの補強工事(耐震)	窓・壁などの断熱・結露防止工事	高齢者・障害者などに配慮したバリアフリー化	その他	無回答	計
種類	全体	44	28	1	1		11	1	72
	戸建	3	2	1				1	5
	賃貸	41	26		1		11		67
地区	大字熊川	16	6		1		2		23
	北田園	4	2	1			1		5
	南田園	5	4				1		9
	牛浜・志茂・本町・東町	4	3				2	1	8
	大字福生	6	2				4		13
	武蔵野台・加美平	9	11				1		14

問11 住戸の改善の内容 (問10で「実施した」または「実施する予定」と回答)



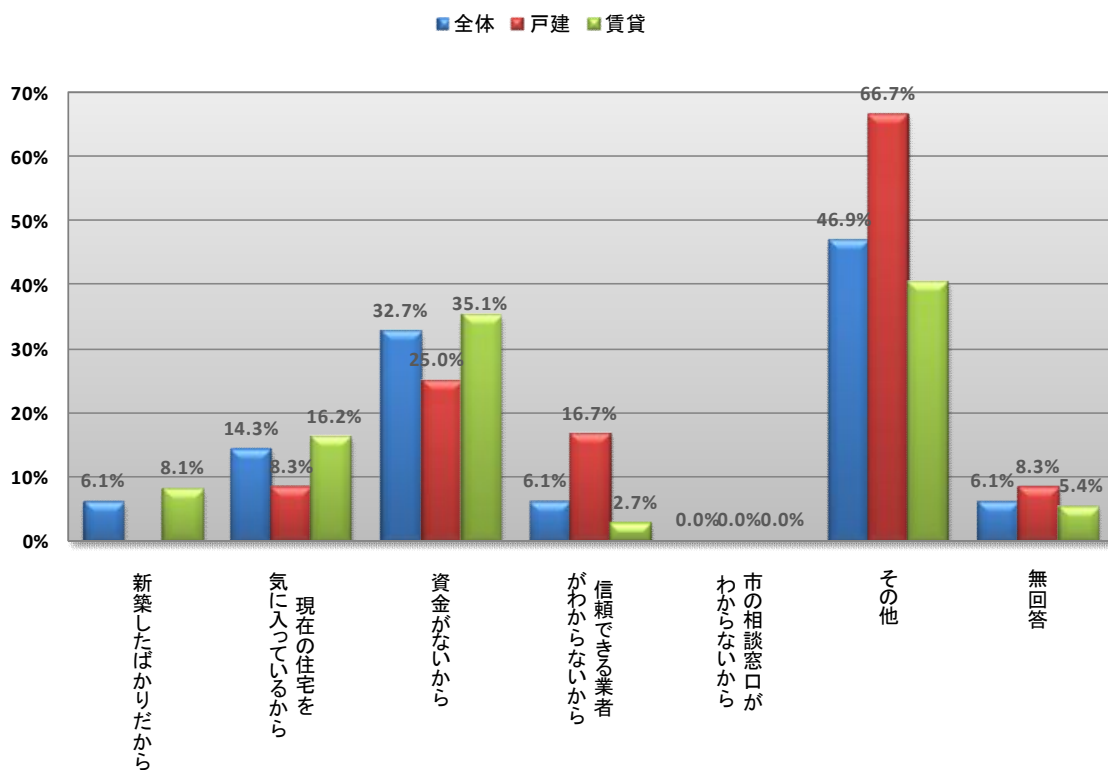
⑧増改築や改修工事などをしない理由

- ・全体では、「資金がない」が最も多く 32.7%であり、次いで「現在の住宅を気に入っているから (14.3%)」「信頼できる業者がわからない (6.1%)」である。
- ・戸建てについては、「信頼できる業者がわからない」の選択肢が全体に比べて高い。

複数回答

		新築したばかりだから	現在の住宅を気に入っているから	資金がないから	信頼できる業者がわからないから	市の相談窓口がわからないから	その他	無回答	計
全体		3	7	16	3		23	3	49
種類	戸建		1	3	2		8	1	12
	賃貸	3	6	13	1		15	2	37
地区	大字熊川			7	1		12		18
	北田園		1						1
	南田園	1		3	1		2		5
	牛浜・志茂・本町・東町	1	1	1			2	1	6
	大字福生	1	1	4	1		4	1	11
	武蔵野台・加美平		4	1			3	1	8

問12 問10で実施しない理由（問10で「実施しない」と回答）

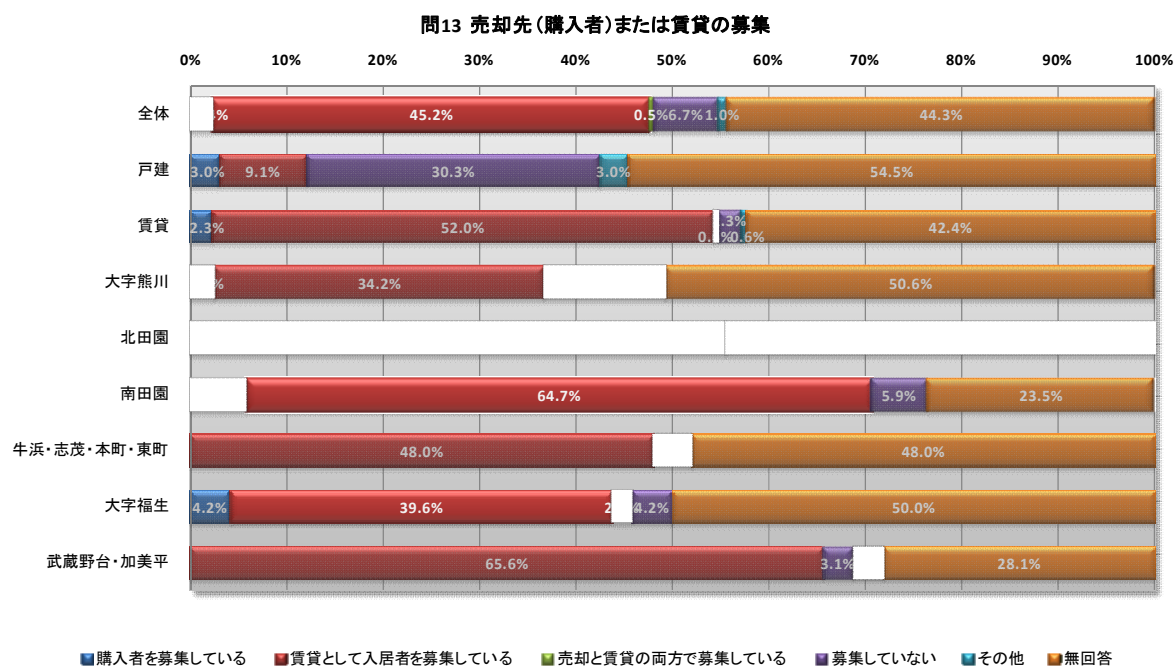


(4) 空き家活用の状況

①売却先（購入者）または賃貸の募集の有無

- ・全体では、「賃貸として入居者を募集している」が最も多く 45.2%である。
- ・戸建てでは、「募集していない」が最も多く 30.3%である。
- ・賃貸では、「賃貸として入居者を募集している」が最も多く 52.0%である。

		購入者を募集している	賃貸として入居者を募集している	売却と賃貸の両方で募集している	募集していない	その他	無回答	計
全体		5	95	1	14	2	93	210
種類	戸建	1	3		10	1	18	33
	賃貸	4	92	1	4	1	75	177
地区	大字熊川	2	27		10		40	79
	北田園		5				4	9
	南田園	1	11		1		4	17
	牛浜・志茂・本町・東町		12			1	12	25
	大字福生	2	19	1	2		24	48
	武蔵野台・加美平		21		1	1	9	32



②売却先（購入者）・入居者が決まらない原因

- ・全体では、「不況」が最も多く22.8%、次いで「建物が古く、設備が傷んでいる(15.8%)」、「駐車場がない(10.9%)」である。

		募集・入居条件				広さや設備について			
		募集開始後間もない(1か月以内程度)	売却価格や家賃が高い	入居条件が厳しい	ペットが飼育できない	居住面積が狭い	建物が古い、設備が傷んでいる	最新の設備を備えていない(IH、床暖房、セキュリティなど)	駐車場がない
全体		5	8	6	4	6	16	10	11
種類	戸建		1	1					
	賃貸	5	7	5	4	6	16	10	11
地区	大字熊川	3	4	1	2	1	6	1	1
	北田園						1	1	
	南田園	1	1	2			1		1
	牛浜・志茂・本町・東町	1	1	1			2	2	3
	大字福生		1	1	1	2	3	4	3
	武蔵野台・加美平		1	1	1	3	3	2	3

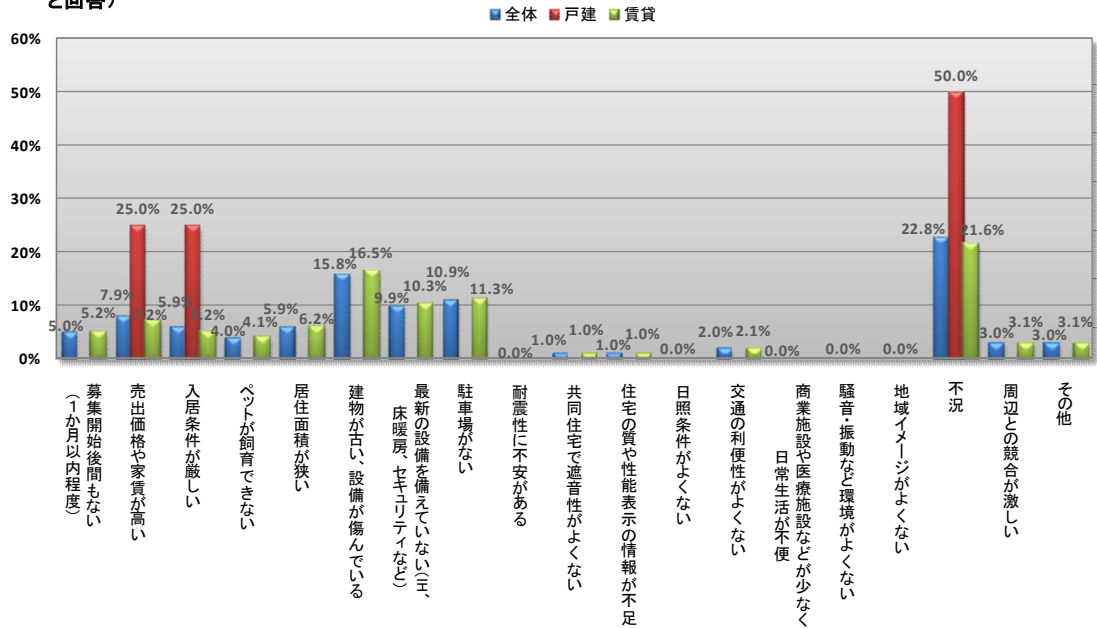
		建物の構造、性能について			周辺環境について				
		耐震性に不安がある	共同住宅で遮音性がよくない	住宅の質や性能表示の情報が不足	日照条件がよくない	交通の利便性がよくない	商業施設や医療施設などが少なく日常生活が不便	騒音・振動など環境がよくない	地域イメージがよくない
全体			1	1		2			
種類	戸建								
	賃貸		1	1		2			
地区	大字熊川			1					
	北田園								
	南田園					2			
	牛浜・志茂・本町・東町		1						
	大字福生								
	武蔵野台・加美平								

複数回答(3つまで)

		その他			無回答	計
		不況	周辺との競合が激しい	その他		
全体		23	3	3	10	101
種類	戸建	2				4
	賃貸	21	3	3	10	97
地区	大字熊川	11	1		2	29
	北田園	2		1		5
	南田園	2	1	1	1	12
	牛浜・志茂・本町・東町	2				12
	大字福生	2			6	22
	武蔵野台・加美平	4	1	1	1	21

問14 売却先(購入者)・入居者が決まらない原因

(問13で「購入者を募集している」、「賃貸として入居者を募集している」、「売却と賃貸の両方で募集している」と回答)



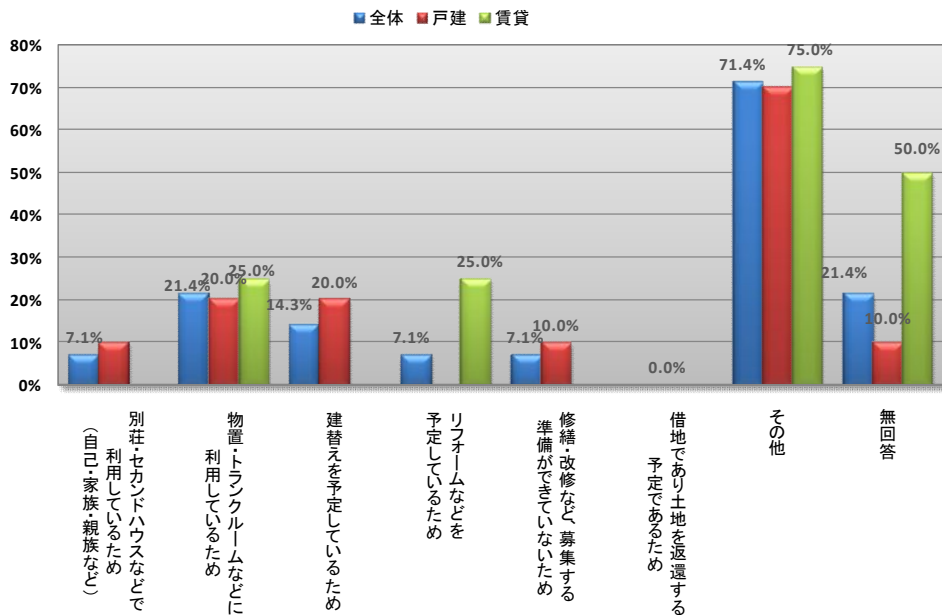
③募集していない理由

- ・全体では、「物置・トランクルームなどに利用しているため」「建替を予定しているため」等の理由が挙げられている。

複数回答

		別荘・セカンドハウスなどで利用しているため(自己・家族・親族など)	物置・トランクルームなどに利用しているため	建替を予定しているため	リフォームなどを予定しているため	修繕・改修など、募集する準備ができていないため	借地であり土地を返還する予定であるため	その他	無回答	計
種類	全体	1	3	2	1	1		10	3	14
	戸建	1		2			1	7	1	10
	賃貸		1		1			3	2	4
地区	大字熊川			2	1		1	5	1	10
	北田園									0
	南田園	1	1					1		1
	牛浜・志茂・本町・東町				1			1		0
	大字福生								2	2
	武蔵野台・加美平					1		3		1

問15 募集していない理由 (問13で「募集していない」と回答)



(5) 活用に向けた考え方

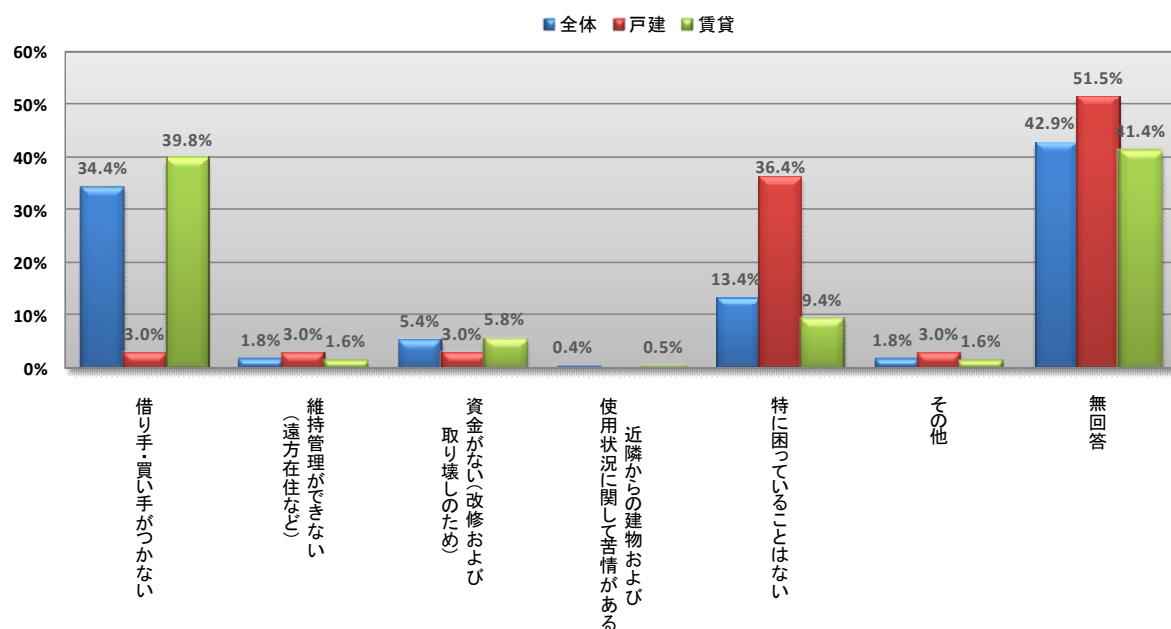
①困っている点

- ・全体では、「借り手・買い手がつかない」が最も多く 34.4%である。
- ・戸建てでは「特に困っていることはない」が最も多く 36.4%である。
- ・賃貸では、「借り手・買い手がつかない」が最も多く 39.8%である。

複数回答

		借り手・買い手がつかない	維持管理ができない(遠方在住など)	資金がない(改修および取り壊しのため)	近隣からの建物および使用状況に関して苦情がある	特に困っていることはない	その他	無回答	計
全体		77	4	12	1	30	4	96	224
種類	戸建	1	1	1		12	1	17	33
	賃貸	76	3	11	1	18	3	79	191
地区	大字熊川	25	2	4		11	2	39	83
	北田園	4		1		1		4	10
	南田園	10	1	1		4	1	4	21
	牛浜・志茂・本町・東町	6				3		16	25
	大字福生	18	1	3	1	4		23	50
	武蔵野台・加美平	14		3		7	1	10	35

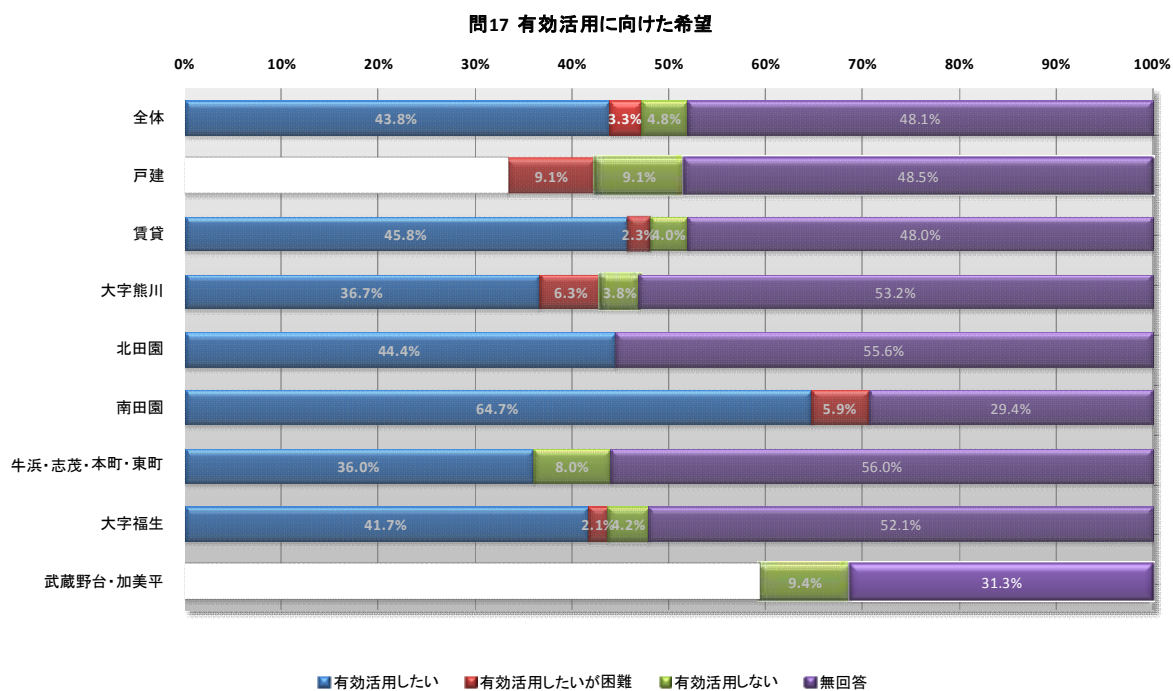
問16 困ってる点



②有効活用に向けた希望

- ・全体では「有効活用したい」が最も多く 43.8%である。ただし、無回答が 48.1%を占め、約半数の方の活用意向は不明である。

		有効活用 したい	有効活用 したいが困難	有効活用 しない	無回答	計
全体		92	7	10	101	210
種類	戸建	11	3	3	16	33
	賃貸	81	4	7	85	177
地区	大字熊川	29	5	3	42	79
	北田園	4			5	9
	南田園	11	1		5	17
	牛浜・志茂・本町・東町	9		2	14	25
	大字福生	20	1	2	25	48
	武蔵野台・加美平	19		3	10	32



③有効活用に向けた手法 ～問 17「有効活用したい」と回答の方～

- ・全体では、「現状のまま利用したい」が最も多く 73.9%であり、次いで「リフォームして賃貸住宅として貸し出したい」が 23.9%である。
- ・戸建てでは「建物・土地を売却したい」が 5 件ある。
- ・賃貸では、全体と同様、「現状のまま利用したい」が最も多く、次いで「リフォームして賃貸住宅として貸し出したい」である。
- ・選択肢「5. 取り壊して（建て直して）別の用途にして活用したい」の活用方法としては、駐車場、事務所・店舗など、賃貸住宅が挙げられている。

問18 どのように活用したいか（問17で「有効活用したい」と回答）

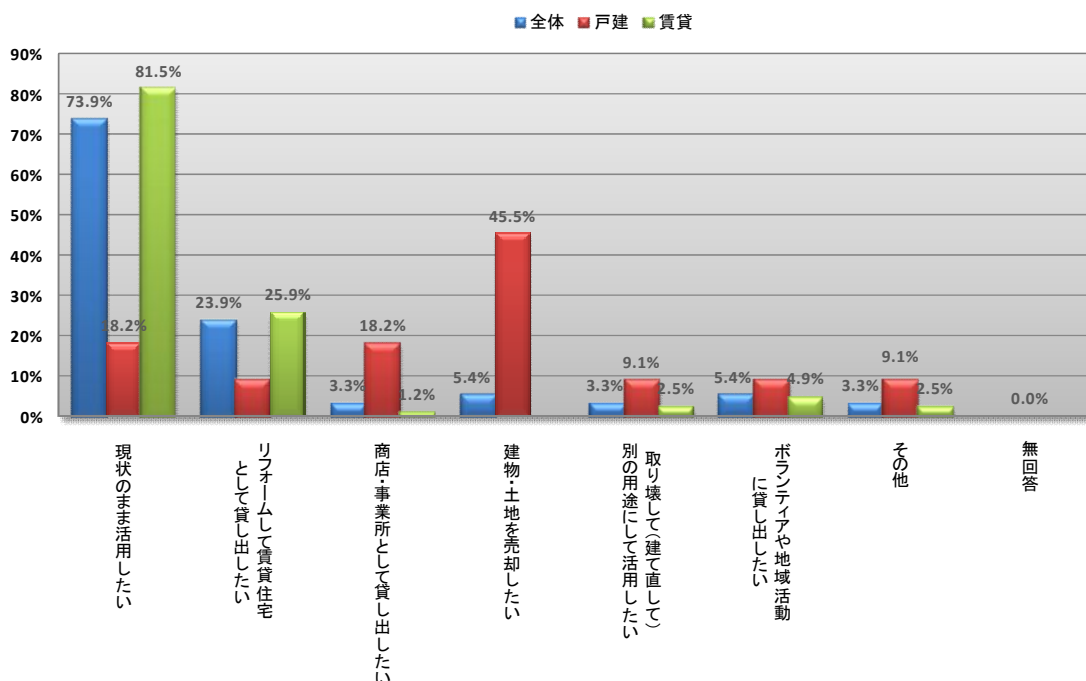
複数回答

		現状のまま活用したい	リフォームして賃貸住宅として貸し出したい	商店・事業所として貸し出したい	建物・土地を売却したい	取り壊して（建て直して）別の用途にして活用したい	ボランティアや地域活動に貸し出したい	その他	無回答	計
全体		68	22	3	5	3	5	3		92
種類	戸建	2	1	2	5	1	1	1		11
	賃貸	66	21	1		2	4	2		81
地区	大字熊川	20	8		2	2				29
	北田園	5	1							4
	南田園	8	2	1	1			2	2	11
	牛浜・志茂・本町・東町	5	5	2					1	9
	大字福生	16	2		1			2		20
	武蔵野台・加美平	14	4		1	1		1		19

問21 どのような用途で利用したいか（問18で「取り壊して（建て直して）別の用途にして活用したい」と回答）

		賃貸住宅	事務所・店舗など	駐車場	分譲住宅	倉庫・工場など	その他	無回答	計
全体		1	2	3			1		7
種類	戸建		1	2					3
	賃貸	1	1	1			1		4
地区	大字熊川		1	2					3
	北田園								
	南田園								
	牛浜・志茂・本町・東町		1	1			1		3
	大字福生								
	武蔵野台・加美平	1							1

問18 どのように活用したいか（問17で「有効活用したい」と回答）



④有効活用が困難な理由 ～問 17「有効活用が困難」と回答の方～

- ・「有効活用したいが困難である」理由については、「具体的な活用の方法がわからない」「資金的な問題」が挙げられている。

複数回答

		資金的な問題	道路の幅員など、周辺環境の問題	近隣住民との関係の問題	具体的な活用の方法がわからない	その他	無回答	計
全体		4			6	2		7
種類	戸建				2	2		3
	賃貸	4			4			4
地区	大字熊川	1			3	2		5
	北田園				1			0
	南田園	1			1			1
	牛浜・志茂・本町・東町	1			1			0
	大字福生	1						1
	武蔵野台・加美平							0

⑤有効活用しない理由 ～問 17「有効活用しない」と回答の方～

- ・「有効活用しない」理由については、「具体的な計画がきまっていないため」「売却予定のため」が挙げられている。

複数回答

		税制上の優遇措置を継続するため	売却予定のため	具体的な計画が決まっていないため	その他	無回答	計
全体			1	7	5		10
種類	戸建			4	1		3
	賃貸		1	3	4		7
地区	大字熊川			3			3
	北田園						0
	南田園						0
	牛浜・志茂・本町・東町			2	3		2
	大字福生		1	1			2
	武蔵野台・加美平			1	2		3

⑥有効活用に向けた手法の必要性

- ・全体では、「公的機関による借上げ制度」「空き家の有効活用に関する情報の提供」が多く各20%程度である。また、「宅建業者との連携（物件情報の提供など）」、「リフォームに対する支援」が続いている。

複数回答

		リフォームに対する支援	空き家の有効活用に関する情報の提供	公的機関による借上げ制度	宅建業者との連携（物件情報の提供など）	公的機関・金融機関からの融資などの施策（リフォーム・建て替え資金など）	空き家の有効活用は考えていない	その他	無回答	計
全体		26	43	44	32	12	9	1	120	210
種類	戸建		6	2	4	1	3		21	33
	賃貸	26	37	42	28	11	6	1	99	177
地区	大字熊川	7	13	10	17	7	4	1	49	79
	北田園	2	2	2	1	1			6	9
	南田園	3	6	6	5	1			7	17
	牛浜・志茂・本町・東町	2	6	4	4	1	2		14	25
	大字福生	8	11	13	3	1	1		30	48
	武蔵野台・加美平	4	7	9	2	1	2		14	32

問22 有効活用するために必要

